

学校番号	15	学校名	東部特別支援学校伊東分校	校長名	長崎良夫
------	----	-----	--------------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 学校教育目標「つたえあい つくりあい たかめあう人」

教育目標の具現化に向けて、児童生徒の生命と健康を尊重し、一人一人の個性の伸長と自己実現を支援する教育に努める。そのために、①安全・安心 ②専門性に基づいた教育 ③地域の中で育ち、役割を果たす学校 ④働きがいのある学校 のキーワードを含む学校づくりの4つの視点を掲げ、地域社会と関わりながら保護者、地域から信頼される楽しい学校づくりを目指す。

「つたえあい つくりあい たかめあう人」とは、豊かなコミュニケーションができる人、つくること、はたらくことを楽しむ人、生活する力がつき、感性や生活の質を高めていく人のことである。

2 目標具現化の柱

(1) <守る> 学習環境を整備・充実させ、健康で、安全・安心な学校生活を確立する。

ア 安全・安心を守る学校組織の機能充実

イ 学習環境の整備

ウ 人権を尊重する教育の充実

(2) <育む> 専門性に基づく指導をとおして、自己実現に向けた教育の充実を図る。

ア 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づく個に応じた指導

イ 研修による授業の充実と専門性の向上

ウ 関係諸機関との連携の強化によるキャリア教育の充実

(3) <つなぐ> 「地域の中で育つ児童生徒、地域の中で役割を果たす学校」をめざす。

ア 交流校における交流及び共同学習の推進

イ 地域における交流及び共同学習、地域資源活用の推進

ウ 地域における特別支援教育のセンター的取組の充実

エ 併置校や地域との共生・共育や伊東分校の今後の在り方の検討

(4) <高める> 教職員が互いに支えあい高めあい、働きやすい環境づくりに努める。

ア 信頼される学校づくりのための意識向上

イ 働きがいのある学校づくりのための相互援助と業務改善の推進

3 本年度の取り組み（重点目標）

(1) <守る> 学習環境を整備・充実させ、健康で、安全・安心な学校生活を確立する。

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	安全・安心を守る学校組織の機能の充実			
	(ア)防災対応体制の整備と充実	教職員が、自分の役割や行動が明確になり共有できるような研修や訓練を実施する。 児童生徒の防災意識を維持できるような訓練を、工夫して実施する。	研修や訓練を通して、自分の役割や行動が分かり、対応力を身につけることができた。 児童生徒が訓練を通して防災について学ぶことができた。	防災危機管理課
	(イ)安全な緊急対応体制の充実	年度始めに、緊急時対応やその他のマニュアルについて、机上で学ぶ研修会を実施する。その後、必要な演習を適宜実施する。	研修や訓練を通して、自分の取るべき行動が分かり、曖昧な点を確認することができた。	保健安全課
	(ウ)感染症対策の実行	感染症対策の検討改善を繰り返し行い、感染状況に応じた指導や呼びかけ、対策を推進する。	学区の感染状況に応じて対策をとり、感染症対策と児童生徒への指導に努めることができた。	保健安全課 主事会
イ	学習環境の整備			
	(ア)危険箇所の点検と改善	毎月の安全点検や日常気付いた箇所の整理整頓・報告を通して、校内の危険箇所や状況の確認をし、速やかに改善を図る。状況を随時報告する	校内の整理整頓に努めた。 危険箇所や状況を確認し可能な対応策をとり、対応状況を共通理解できた。	保健安全課 副校長 事務担当

様式第1号

ウ	人権を尊重する教育の充実			
	(ア) 一人一人の人権意識の向上	人権チェック表での自己チェックと集約をし、現状の共有と意識化を図る。見習いたい言動や自他共に気を付けたい言動について、共通理解を図る。校内人権研修を実施する。	教職員が見習いたい言動や自他共に気を付けたい言動を確認しあい、良い対応の広がりや人権に配慮した改善がなされた。研修で自己を振り返り、その後の指導にいかした。	生徒指導課 各学部 各学年

(2) <育む> 専門性に基づく指導をとおして、自己実現に向けた教育の充実を図る。

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づく個に応じた指導			
	(ア) 個のニーズに応じた指導の充実	療育支援や自立活動研修を通して、個のニーズに応じた指導の充実を図る。個のニーズに応じた教材教具の充実や活用を図る。	保護者と共に教育支援計画・指導計画を作成し、個のニーズに応じた指導に活用することができた。	主事会 自立活動課 学年主任会 各学年
イ	研修による授業の充実と専門性の向上			
	(ア) 専門性向上のための研修	新学習指導要領理解に向けた、研修を実施する。研修テーマに沿った授業実践を行うために、各研修の内容の充実を図る。	児童生徒のアセスメントを行い、新学習指導要領を踏まえた目標を設定して授業実践を行うことができた。	研修課 各学部
	(イ) 情報機器を活用した授業	iPAD やパソコンなど情報機器の基本的な接続や使用方法を周知し、授業等への活用を推進する。必要な人を対象に情報機器の基本操作の研修やマニュアル配布を行う。	情報機器を接続したり使用したりすることができるようになり、授業や業務で活用することができた。	情報教育課
ウ	関係諸機関との連携の強化によるキャリア教育の充実			
	(ア) 実践的なキャリア教育の実施	小学部中学部の系統的なキャリア発達を確認する。将来の生活を意識した体験・見学等を実施する。キャリア教育に関する情報提供を行う。	児童生徒・保護者の卒業後の生活や将来の希望を意識した、授業実践や啓発ができた	各学部 地域連携・進路課
	(イ) 関係機関と連携した進路指導	児童生徒の課題解決や進路選択につながる情報提供や、支援会議を開催する。定期的に、校内に連携支援情報を報告する。	必要な情報提供や、対象となる児童生徒の支援会議を実施した。連携支援の情報が、校内で共有できた。	地域連携・進路課 各学部

(3) <つなぐ> 「地域の中で育つ児童生徒、地域の中で役割を果たす学校」をめざす。

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	交流校における交流及び共同学習の推進			
	(ア) 相互理解のための学校間交流	交流活動の打合せにおいて、両校の児童生徒が交流できる方法や工夫を協議して計画的に推進する。学部単位で共通理解を図る。	相手校と、伊東分校の両方の児童生徒にとって交流する場面や良いあらわれが見られた。	各学部 各学年 共生・共育推進委員会
イ	地域における交流及び共同学習、地域資源活用の推進			
	(ア) 地域資源を活用した分校理解の推進	地域資源を活用して、地域社会の人たちと触れ合い、分校に対する理解を深める。更に地域に出る活動の場を広げたり方法を工夫したりする。たよりやHP等にて、地域に発信する。	学習の場や方法に工夫や広がりが見られ、児童生徒が地域の中で学ぶことができた。地域の、分校に対する理解が深まった。	各学部 各学年 情報教育課
ウ	地域における特別支援教育のセンター的取組の充実			
	(ア) 地域の教育力向上への支援	近隣市町教育委員会と連携し、幼児保育教育機関、小中学校、高等学校の教育力向上のための支援をする。	巡回相談などの支援依頼に校内資源を活用して対応できた。	地域連携・進路課
エ	伊東市学校再編をふまえ、併置校や地域との共生・共育や伊東分校の今後の在り方の検討			
	(ア) 令和4年度末に向けた計画	令和4年度末に向けた、西小学校や地域との共生共育のまとめや企画を検討する。	令和4年度末に向け、西小学校や地域との共生共育について検討した。	主事会 実行委員会

様式第1号

(4) <高める> 教職員が互いに支えあい高めあい、働きやすい環境づくりに努める。

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	信頼される学校づくりのための意識向上			
	(ア)不祥事ゼロ	不祥事根絶に向けて所属意識を高め、定期的な注意喚起を行う。	不祥事ゼロ 加害交通事故・違反ゼロ	副校長 主事会
イ	働きがいのある学校づくりのための相互援助と業務改善の推進			
	(ア) 会議等の効率化、業務の効率化	教職員個々がタイムマネジメント力の向上に努める。(会議時間厳守 掲示板活用、資料の事前配布、議題予告、担当や期限の明確提示) 業務におけるICT機能の活用の推進(サーバーの整理改善、Googleアカウントアンケート機能の活用等)	校内のタイムマネジメント意識が向上し、児童生徒や業務に向き合う時間が充実した。 業務におけるICT機能が整備され、効率化された。	副校長 主事会 各学部 各学年 各分掌